

拝啓。カルデア様。

とりのんぱ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

人理修復後、マスターとカルデアの人達が文通を始めたそうです。

途中から主人公が交代します。EOR編です。

目次

| | |
|-----------|----|
| 一月六日 | 1 |
| 一月十五日 | 4 |
| 一月二十三日 | 7 |
| 二月一日 | 12 |
| 二月三日 | 15 |
| 二月八日～二月九日 | 19 |
| 二月十二日～十三日 | 22 |
| 二月十四日 | 26 |
| 二月二十日 | 30 |
| 二月二十五日 | 35 |
| 三月一日～三月七日 | 38 |

一月六日

一月六日

拝啓。カルデア様。

藤丸立香、現地時間一月五日三時二十三分、無事日本に到着しました。

それから実家に帰着し、親からはこの一年何やってたのかと叱られ、妹からはどこをうろつきまわっていたのかと殴られ、友人とちよつと遅めの初詣に出かけ、その後一年ぶりの銭湯に入り、溜め込んでいた宿題を泣きながら消化し、今こうして手紙を書いている次第です。

本当はメールがよかったです、カルデアが電波も届かない雪山の天辺にあるせいで仕方なく手紙を書いているわけなのだけど、しかし直筆で手紙を書くというのはこの情報化社会では中々に珍しいことだ。

貴重な体験ができたと思えばまあいいか、と思わなくもない。最も貴重な体験というのはなら人理修復に敵うものは無いだろうけど。

さて、先程書いた近況を見れば分かるとおり、俺は今実家にて絶賛羽伸ばし中です。もともとカルデアに行く前の俺は、休日は家の中でぐだぐだ、ごろごろと、家内や友

人から「ぐだお」という渾名を付けられるくらいに時間を浪費して過ごしていたので、いざそうして羽を伸ばしていると日常を取り戻したという感慨がこみ上げてきて柄にも無く涙をぼろぼろとこぼしてしまいました。

その様子を妹に見られ、「キモい」の一言を頂戴してしまったのだけれど、それはそれ。とにかく、元気でやっています。

そちらは元気でやれていますか。やれているなら大変よろしいのですが、元気がよすぎて問題を起こさないようにして下さい。

特に清姫。カルデアから脱走して遠路はるばる日本まで追いかける、なんて計画を練らないように。

これは君が嫌いだから言っているのでは無く、君が嘘を憎んでいるから言っている。カルデアの外の世界は嘘が溢れている。もし君が外に出て、なおかつ嘘を感じし、ぶちギレて辺りを火の海にしてしまおうものなら、俺は令呪を以て自害を命じなければならなくなる。

そんなことはしたくないので、決して脱走しないように。ストーキングスキル発動ダメ、ゼツタイ。

それからマシユ。俺がいない間のカルデアは任せてくださいと豪語していたけれど、実際マシユなら何も心配ないどころか俺よりも上手くやれてると思う。

ただ、カルデアから脱走するサーヴァントがいないよう注意しておいてくれ。具体的にはストーキングスキル持ちや恋の追跡者スキル持ち、それからバーサーカーの動向にも目を光らせておけばいい。神秘の漏洩もそうだけど、単純に現代社会にその人達が放たれると何をしでかすか分からないからね。

それではこの辺で。出来れば、暫くは取り戻した日常に浸ってたいです。

お返事お待ちしております。

草々

藤丸立香

人理保障機関フィニス・カルデアの皆様

一月十五日

一月十五日

拝啓。カルデア様。

早速ご返事頂きまして、有り難く思いました。

俺の手紙を読むなり、清姫が「こんなに私のことを心配してくださるなんて……これ
はもう、夫婦と言つてよいのでは！」などと恍惚な表情で言つたそうですが、今からで
もいい。ただちに否定してください。

俺は清姫の夫婦でなければ安珍でもない。じゃあなんなのかと言うとマスターであ
る。

頼むから普通のマスターとサーヴァント、という関係性であることを理解してほしい
ものです。

さて、前回の手紙を執筆していたときすっかり忘れていたのですが、俺は学校に通つ
ていたのです。

日常を取り戻したとかぬかしておきながら日常の最も重要なフアクターが完璧に俺
の脳から抜き落ちていたわけです。宿題をやっていたくせに。これは恥ずかしい。

という訳で、今俺はおよそ一年ぶりの学生生活を謳歌しております。

朝早く起きて、授業を受け、お昼時に学食で食券戦争を行い、午後の授業を睡眠学習でやり過ごす日々を送っているのです。

カルデアとはまた違った、充実した日々であります。

ところで、世間では「失われた一年間」の話題というか、噂話が後を絶ちません。何せ気付いたら一年が経っていたのだから、当然かもしれないけれど。

しかしその原因をガスによるものとするのはいかがなものか。

いくらなんでも無茶がありすぎる気がするし、それにガス会社の人達に迷惑がかかるではないか。

しかし世間の人達はそれで納得しているらしい。解せぬ。

前回の手紙で清姫とマッシュだけ名指しでメッセージを載せたところ、二人だけずるいとの声が届いたのでちよつとメッセージを載つけます。

まずはエリザベート。一応聞くんですけど、歌を歌ったり、料理を作ったりしてないよね？

しているんだつたら、歌はエリザベート専用の個室で、料理は自分で処理しておいてください。これはマスター命令であります。

次にアルトリア・オルタ。久しぶりに食べるM印のハンバーガーがとっても美味し

かったので、カルデアに行った時にお土産として大量に持っていきます。

……のだけど、「大量」の基準が分からない。具体的に幾らぐらい持っていけばいいのか、もしよければ教えていただけると嬉しいです。

最後にマシユ。そろそろ顔が見たくなってきた。次に返事を寄越すときは、お願いだから顔写真付きで送ってください。

草々

藤丸立香

カルデア様

追伸　ちなみにハンバーガーはMサイズ、普通のハンバーガーとチーズバーガー、ポークバーガー、照り焼きバーガーの4種類がございます。

一月二十三日

一月二十三日

拝啓。カルデア様。

まず最初に言うけれど、食券「戦争」というのはモノの例えで、決して命のやり取りをしているわけではない。したがって出撃準備もしなくていい。うちの学校を特異点にするつもりか。

学校といえば、どうして皆そんなに俺の学校生活を知りたがるのか。俺は超高校生級の高校生などではない。ただの一般人。普通の高校生である。

そんな奴の日常なんて特筆すべきものは何も無く、そんなものを見るくらいならマシユのおっぱいを見る方が心が落ち着くわ気分が高揚するわで何倍も時間を有意義に使える。

だから皆、マシユのおっぱいを見よう！おっぱいは正義、おっぱいは宇宙！

とはいえ書くことが無いので学校生活を書かざるを得ないわけだけでも。

必然的とはいええ、ちよつと癪だ。後恥ずかしい。プライベート的な意味で。

まあ俺のプライベートなんて毛ほども気にかかれていないのはマイルームに忍び

込むサーヴァントの皆さんを見れば明らかなかわけだけど。

そんなことはどうでもいい。近況報告である。

来週、俺の学校でマラソン大会が行われるらしく、昨日はその練習が行われた。

一応説明しておく、マラソン大会というのは冬の肌寒い風がびゅうびゅう吹き荒れる中で4.2、19.5キロもの長距離を走らされ、体力と免疫力のことごとくを浪費させて参加者を風邪にかかりやすくさせるといふ大変愛らしい大会のことだ。これを企画した人物に、俺は尽きぬことの無い感謝の念を送りたい。

ともあれそんなわけで、大抵の生徒はこの大会に対する熱意は極めて低い。あまりにも低すぎて、どうやって大会をサボろうかと画策する者までいる。そんなものに熱意を注ぐ暇があるんなら普通に走る方が健全であることはそいつ以外の全員が思っていることで、つまるところそいつはただの阿呆である。

俺はというと、去年までならやる気がないなりに頑張って完走して、免疫力を弱めて風邪を引いていたわけなのだが、しかし今年は違う。

なんてつたつてスパルタトレーニング、カルデアブートキャンプ、ヘラクレスとのリアル鬼ごっこを経験しているのだ。今の俺はむきむき、今更マラソンごときでへこたれる訳がない。

でもやっぱりやる気は出なかった。面倒くさいし。

そんな中行われた練習であるが、これは本番の約半分、20キロ走でタイムを競うというものだ。

何故半分なのか。というと、本番は町中の道路を貸しきって行われるのだけれど、貸しきるには申請とお金が必要なので、前哨戦も貸しきって行われる、といえわけにはいかない。

ではどこで行われるのか。

校庭である。即ちグラウンドである。

うちの学校のグラウンドは一周500メートルなので、そこで42キロちよつと走るとなると84週も回らなければならなくなる。

景色の変わらないコースを84週も回る。

これはよくよく考えなくても、地獄以外の何者でもない。教師陣もそう思ったのか、本番の半分の20キロを走るだけで済むようになったわけである。

でも20キロでも校庭40周である。どちらにせよ地獄であった。

そんな地獄の中にあつて、やる気を出すような奴はほとんどいなかった。

俺もご多分にもれず、やる気なんてなかった。

にもかかわらず、優勝してしまった。

たかが練習で一位を取っただけとはいえ、優勝は優勝。去年までの俺には考えられな

い成績だ。

これがカルデアの諸々によるものであることは確定的に明らかだ。と同時に、俺は気がついた。

今こそカルデアで鍛え上げた身体能力を見せつける、絶好の好機であると。というわけで必ずや本戦でも一位を取ってくるので、皆さん期待しておいて下さい。それではいつものようにメツセージを。

マシユ。写真をどうもありがとう。二週間ぶりにみるマシユの顔は懐かしくて温かくて可愛らしくて、天使が降臨したのかと思いました。仏頂面ですら美しいのだから凄まじい。

でも次は表情もつけてくれると嬉しいです。証明写真かと思いました。

清姫。並びにアンとメアリー、静謐のハサン、源頼光。なぜ君たちの写真まで入っているのです？

いらなとは言わないしむしろありがたく貰うけれど、でもちよつと怖いです。

アルトリア・オルタ。確かに量を尋ねたのは俺だけど、だからと言って三桁数を要求するのはやり過ぎだと思う。第一俺にはそんなにお金はありません。

常識的な量でお願いします。

草々

むきむきとなつた藤丸立香
カルデアの皆様

二月一日

二月一日

拝啓。

何をやってるんですか貴方達は。

俺を応援してくれるのはありがたいことだし、それがカルデア総動員で行われたとあつては頭を地面に消ゴムのごとく擦り付けるほど感謝している。しているのだけれど、やっぱり解せない。

どうしてカルデア内でマラソン大会を開いてしまったのですか。しかもフルマラソン、全職員強制参加とは。

「マスターが頑張っているのだ。我々が頑張らなくてどうする」じゃあないんですよ。そこを頑張つてどうするんですか。頑張り方のベクトルが明後日の方向に飛んでいるように見えます。

マシユもどうして止めなかつたのか。

スタツフさん達も付き合わなくても良かったのに。走りたくなかつたら走らなければよいのです。

ダヴィンチちゃんは……まあ仕方ない。むしろ積極的に走ってこいまである。

というか、マラソンなのかこれは。馬で駆け抜けるサーヴァントはいるわ、魔力放出でロケット砲のごとく駆けるサーヴァントがいますわ、ペガサスで駆け抜けるサーヴァントはいるわ、船で進むサーヴァントがいますわ、バイクで疾走するサーヴァントがいますわ、竜に転身するサーヴァントがいますわ……。

でもまあ、宝具の使用がなかったからいいか。

こちらはというと、無事にマラソン大会優勝しました。

これはカルデアの鍛練の賜物なのか、はたまた皆さんの熱狂的(?)な応援のお陰なのか。

多分両方だと思います。本当にありがとうございます。

でも次から応援はほどほどくらいでお願いします。「次」があるのかわからないけれども。

それではいつものようにメツセージ。

ナイチンゲール。給水ポイントに置かれてあった水をすべからく消毒薬に変えたそうですね。流石です。

でも今度からはやめてあげてください。ランナーを消毒してどうするのですか。

ダレイオス3世。イスカンドルのブケファラスとデッドヒートを繰り広げたそうで

すね。でも象で走るのはマラソンと呼べるのでしょうか。

最もそれはライダークラスの皆様。並びに金星の女神、槍を持ったアーサー王、UFOに乗ったキャスター、色々作り出す万能の天才、エトセトラにも言えることですけど。マラソンは自分の足で走ってこそマラソンです。乗り物に乗るのはただのレースだと思ふのです。

マシユ。どうしてこんなことが起こったのか聞きたい気分ではあるけど、それはそれとして、今回同封されていたやたらと胸が強調された構図の写真はなんなんですか？

まさか前回俺がおっぱいおっぱい連呼していたから気を遣ってこういう写真を送ってくれたのか。

そうだとしたら、マシユ。そんな欲望にまみれた意見を真に受けてはいけない。好意はありがたいけど、やっていいことやってはいけないこともあると思う。

今回はどちらの場合かという点、それはマシユが自分で考えておいてください。

あ、でも写真はありがたく貰っておきます。

草々

肝を冷やした藤丸立香

二月三日

二月三日

拝啓。

一週間に二回も手紙を送るのは何気に初めてですね。このままどんどん書く頻度を上げていつて、いずれ毎日書くくらいでもいいかもかもしれません。

そんなに書く時間も内容も無いんだけれど。

それはそうと、皆。節分という催しを知っているだろうか。

カルデアには日本出身のサーヴァントが何故が多いから皆までかもしれないが、一応説明すると、季節の変わり目に豆をぶつかけたり、年の数だけ豆を食べたり、恵方巻を食べたり、豆をぶつかけたり、豆をぶつかけたりする催しである。

で、その節分というのは今日。日本時間で、二月三日である。

まだまだ最高気温一桁の日々が続いているのに季節の変わり目とはどういうことかちやと思うが、何でも旧暦の二月三日は今でいうと三月くらいであるかららしい。

かつての二月三日は半袖短パンで外をうろついても問題ない日であったのだ。

無論今そんなことをやったら風邪を引くこと待ったなしたが。

ちなみにこれらの情報を教えてくれたのは妹である。

俺がどうして二月が季節の変わり目なんだろうなと言ったら、「そーんなことも知らなかったのう？」と、妙に煽りながら教えてくれた。

ジャンヌオルタといい、妹キヤラは一々兄（姉）を煽らなければ気がすまない質なのだろうか。最もジャンヌオルタは喋っていても可愛いが、うちの妹は口を開けば罵詈雑言、それでいて博識。なにより愛嬌がない。オルタちゃんとは天と地くらの差がある。

それは本日の豆まきからも明らか。俺は今朝、妹に福豆を思いつきりぶつけられて起こされました。

曰く、「お兄ちゃんはー、外ー」だそうで。

これは酷いと思う。俺は鬼ではない。

仮に鬼だったとしても、そこまで鬼を悪くいうことはないだろう。酒呑だつて茨木だつて、まあ悪い妖怪ではあるのだろうが、悪口を言われていい気はしないだろうし。

鬼だろうが狼王だろうが悪の教授だろうが、悪口を向けていい相手なんて存在しないと思うのです。

というわけでその事に関して注意した上で、恵方巻を食べている妹を全力でくすぐつたら殴られました。

非道い。俺はただ、物理的目覚ましビーンズアタックの仕返しをしようとしただけなのに。

ちようどよく恵方巻を食べているのが悪い。これはもう、報復の時は来た！と思われなくても仕方ないと思うのだ。

……冗談はさておき、こちらはこんな感じで楽しくやっております。

カルデアの皆さんはどうですか？楽しくやれていますか？

一ヶ月もこうやって暮らしていると、グランドオーダー人理修復にあくせくしていた日々が夢であったかのように思えます。

何せ、ここでの日常は平穏すぎる。勿論大変なこともあるけれどカルデアの頃のように、朝起きたら隣に某姫とか某暗殺者とかが寝ているだとか、ドキツ☆セイバーだらけの大食い大会！　く（首が）ポロリもあるよ！　とか、ありすのお茶会とか、殺菌！消毒！処置します！とか、わるいぶんめいとく、CCC48の黄金劇場ライブとか、レイシフトの事故とか、そういうことがあるわけではない。

……何故か胃が痛くなってきた。そういえば、カルデアにいた頃はレイシフトのない日でも気の休まるときは無かったような気がする。そう考えると、今回の帰省は本当によい休暇であるのだなあという実感が湧いてくる。

もう少し、この平和な日常を謳歌して参ります。

草々

愚痴ばっか書いてた気がする藤丸立香

二月八日〜二月九日

二月八日

前回の手紙を送った直後、狙い済ましたように家のポストに手紙が入っていたので、なんだこの電光石火の返事とは思いました。

でもよくよく考えなくてもただの偶然ですね。ごめんなさい。何で謝ってるんだろ俺。

というか、前回まだまだ平和を謳歌しますとか書いた直後に招集命令出てくるとはどういうことですか？嫌がらせでないことはわかっているけれど。

とはいえ、そろそろ皆の顔が恋しくなってきたところだった。思ったよりも短い休暇になつてしまったのは残念だけど、そろそろマスター業に復帰する時なのだろう。

ハンバーガー90個買えるほどのお金溜めてないとか、前回妹、妹連呼したとかで復帰早々オルタに殺される未来しか見えないことなど、些細な問題だろう。

……気分は断頭台上に上がる死刑囚だ。身から出た錆なのだが。そちらに到着するのは1ー1日ぐらいになりそうです。

健康に気をつけてお待ちください。

草々

健康体そのもの・藤丸立香

人理保証機関　フィニス・カルデアの皆様

〃〇〃

二月九日

拝啓。

始めまして、人理保証機関　フィニス・カルデアの皆様。

藤丸立花と申します。

いきなり私が手紙を書いたのは並々ならぬ事情があるのです。今からそれを説明します。

昨晚、私が帰宅したところ、テーブルに何やら紙切れが置いてありました。

何だろう、と思つて見てみると、不肖の兄の字で、「バイト先から招集命令が来たから行つてくる。一ヶ月したら戻ってくるからよろしく」と書かれてありました。

何をやってるんですか馬鹿兄貴。失われた一年のうちに音信不通になつたと思つたら突然帰つてきて、その癖半年も経たずにまた家を出ていくなんて。

むしやくしやしてきて、私はその紙を破り捨てようとしたときです。

裏にも何か書かれているのを発見しました。

見てみると、「人理保証機関　フィニス・カルデア」という文字とその住所、更に「バイト先は電波が通じないつぽいから連絡するなら手紙でよろしく」という文字が。

馬鹿兄貴はどういうアルバイトをしているのだろうと思いつつも、私は今こうやって手紙を書いている……。

と、まあこんな事情な訳でございます。

取り合えず、馬鹿兄貴。

てめえ家に帰ってきた暁には絶対ぶん殴ってやるからな。何にも言わないで突然家を出ていったこと、私は絶対許さないからそのつもりで。

カルデアの皆様。こんな馬鹿兄ですが、どうかよろしくやってください。お願いします。

かしこ

藤丸立花

人理保証機関フィニス・カルデアの皆様

二月十二日～十三日

二月十二日

拝啓。

迅速なお返事ありがとうございます。前は頭は血がのぼっていたまま書いていたので、言葉遣いが暴力的になってしまいました。

これでは淑女失格です。今度の手紙からは礼儀正しく、私の素晴らしい人間性が溢れ出るようなものになります。

でもお兄ちゃん。あなたのせいでそんな口調になったというに、「そんな暴力的な言葉遣いの女なんぞ俺は知らない」というのは最低だと思っただけです。

心配している私の身にもなってください。これだから、兄は人の気持ちが分からない。

そんな野郎に温情を与える余地ありません。帰ってきたら目にももの見せてやりません。

だからなるべく早く帰ってきてください。家族一同待っています。

ところで、人理保証機関フィニス・カルデアとはどういう組織なのでしょう。

法人名を何回見返しても、何をする団体か皆目見当もつかないのですが。

人理とは何なのでしょう。保証するものようだし、フィナンシャルグループか何かでしょうか。でもそれだとケータイの電波も届かないような山奥にあるというのはおかしい。

本当に、何をする組織なのでしょう。

出来れば教えていただけると助かります。

かしこ

藤丸立花

く〇く

二月十三日

拜啓。

昨日手紙を投函しに行つて、帰つてきてみたら家のポストに手紙が。

見てみると、送り主は人理保証機関フィニス・カルデアとのこと。

なんという神速の御返事だとビックリしながら中を覗いてみると、何て言うことはない。先日の手紙の、長い長い追伸でした。

しかし我が兄よ、開口一番「さつき出した手紙に近況報告出すの忘れたから追伸します」というのはあんまりだと思う。

本来手紙というものは他人に気持ちを伝えるためにあるもの。

事実、私は先日の手紙にてお兄ちゃんに体に気を付けて、無事で帰ってきて下さいという気持ちをぶつけました。

「なのに近況報告を書かないとは。それではお兄ちゃんがどんな生活を送っているか分からないではないですか。

妹の気持ち兄知らず。兄は妹の気持ちがわからない。帰ってきた際にぶん殴られる数が増えました。喜べ。

まあそれは置いておくとして。

近況報告を読んだところ、なんかすつごくむしゃくしゃしてきました。

帰ってくるなり、「立香が帰ってきたー！」と大騒ぎになった、これはまだいい。いや、たかが一バイトであるところのお兄ちゃんが休暇から帰ってきた程度でそこまで歓迎されるのか疑問に思ったけれど、それはまだいい。

その次の文章はなんですか。帰ってきた日から、ずっとバレンタインデー用のチョコレートを作り続ける日々を送っているとは。

なんですか。

一体なんなんですか。

私のお兄ちゃんは、海外出勤と失われた一年を経て、同性愛者になってしまったんですか。

それともあれか。これは友チョコだからセーフとも言える気が。

アホか。確かににお兄ちゃんは「日頃の感謝の気持ちに」とか言って知り合い全員にチョコ配りそうな善人ではあるけれど、冷静に考えてください。

男の友チョコとか気持ち悪すぎる。そういうのもアリ、なんならごちそうさままである人もいるかもしれないけど、少なくとも私はヘドが出ます。

そも、お兄ちゃんはチョコレートを作るためにカルデアに行つたのですか？

違うでしょう。まさかそんなことのために招集をかけるなんて、普通の会社とは思えない。

ちゃんと仕事をしてください。でないと、帰ってきたときに殴る数が倍に増えますよ。

かしこ

藤丸立花

二月十四日

拝啓。

昨日手紙を投函しに行つて、帰つてきてみたら家のポストに手紙が。

もう宛名を確認する気にもならず、無作法に封を開けて読んでみたところ、なんと送り主はカルデア職員であつてもお兄ちゃんではありませんでした。

中の手紙ごと破り捨てる勢いで封を開けた無礼、申し訳なく思います。すみませんでした。

それはさておき。

マシユ・キリエライトさん、こちらこそ始めまして。そちらでお世話になっている、藤丸立香の妹です。

……などという自己紹介に意味はあるのか。私が誰だか分かっているからこそ、こちらも手紙を送っているのではあるまいか。

そもそも、うちの兄の妹と聞いて、どんな人なのか興味を持って手紙を出してくれたそうだし。

でもまあ、それはそれ。

そもそも私なんかには貴女のような字が綺麗な方が興味を持つてくれたということ自体、ありがたいことであります。どのくらいかというところ、感謝の気持ちにジャンピングしてそのままヘッドスライディングからの土下座するくらいです。

本当に感謝しております。どうもありがとうございます。

……先ほどから同じようなことを言い方だけ変えて連呼してるだけです。私の文章力とボギヤブラリーの低さが呪わしいです。

カルデア職員の皆さん！オラに文章力を分けてくれ！と叫びたい衝動に駆られること甚だしいどうも藤丸立花です。

ところで、昨日と一昨日うちの兄から手紙が届きました。そこには何も言わずに家を出て行ったことの言い訳と近況報告が綴られていました。

それを讀んだところ、兄はバレンタインにチョコレートを渡されるためだけに召集されたと思痴っているようです。

私としては信じられません。何も言わずに家を出て行くような甲斐性無しにチョコを渡すような人がそんなにいるのでしょうか。

いや、まああの見ている人を和ませると定評のある笑顔に、感謝の気持ちとか言つて誰彼構わずプレゼントをあげるような天然たらしです。一人や二人くらいは毒牙にかかった人がいるかもしれませんが……。

もしやマシユさんもその口でしょうか。だとすればどうして惚れたのか、ぜひとも聞かせてもらいたいです。

何故かつて？ そりゃあもちろん他人の恋愛というのはとても面白いからだ。

成就した恋ほど語るに値しないという言葉をどこかで見たことがあります、逆に言うなら成就する前の恋ほど語る価値のあるものはありません。古今東西のラブコメを見てそれぞれは明らかです。

さあ、馴れ初めを暴露するのです。さあ、さあ！

……話題が逸れましたね。兄の近況を記述するその筆致に我が兄に対するラブっぷりが余りにも露骨に出ていたのでついからかいたくなってしまうました。

が、そんな一時の感情で話題を逸らすのは淑女失格です。美しく調和のある淑女になるためには徹頭徹尾一貫した内容の手紙が書けることが最低条件です。

なので話を戻します。

昨日の近況報告によると、兄はバレンタインデー用のチョコを作り続ける日々を送っているそうですね。プレゼント無料配布マンであるところの兄がそんな行為に及ぶのは想像に難くなく、なんならチョコを貰うよりあげるほうがしつくり来るまであります、ここでちよつとマシユさんに聞きたいことがあります。

そんなに連日作ったチョココレートを、兄はいつたい誰にあげるのでしょうか。

いや、どうせ感謝の気持ちというただの義理チョコだと思っんですけど、万が一本命だとしたらこれは事件です。

自分に火の粉が降りかからない恋愛の類の事件は見てて面白いので、そうであつたらいいななどと黒い期待をしつつ、だけど実の兄が男にガチ本命チョコをあげるような人だとは思いたくないので、そうではないと願いつつ。

出来るなら調べておいて下さい。よろしく願います。

かしこ

藤丸立花

マシユ・キリエライト様

追伸

そういえば、バレンタインデーにチョコレートをあげるのは日本だけの風習だった筈ですけど、カルデアとやらは一体全体どこにあるのでしょうか？

二月二十日

二月二十日

拝啓。

友チヨコを送ったそうですねお兄ちゃん。私が!! あれほど!!! やめろって言った

!!!!
男同士の友チヨコを!!!!

誤魔化しても無駄です。信頼できる情報源からタレコミがあつたのです。本当は誰にチヨコを渡すのか調査を依頼しただけなんですけどね。

でも今の私は刑事ドラマを見終えた直後なのですごく精神が高揚しています。

この興奮冷めやらぬ感情をどうやって押さえればいいのか。あつそうだ、手紙書こう。

……という感じで手紙を書いているので、テンションが通天閣もかくやというくらいに高くなっているかもしれませんが暖かい目で見守ってください。

さて、友チヨコの話ですが。

男同士の友チヨコなんて気持ち悪いだけだというのは前の手紙にも書いたではないですか。

それに友チョコの範疇ならまだいいですけど、日頃お世話になつてゐるからといって男色家だったり男だか女だかよく分からないような見た目の人にもチョコ渡したりしてないですよね？

してないですよね？

杞憂だつたらいいのですが、私の妹としての勘が兄は今何やらヤバい方向に猪のごとく突き進んでゐるぞと警告を發してきますので……。

いずれ、兄が女装してそちの道に入らないか心配しております。

そういうえば、ついでとか言つて女性スタッフさん達にもチョコを配つていたそうですね。

この阿呆め。

何故自分に好意を寄せている人がすぐ側にいると知りながら他の女にチョコなんぞ配つていやがるのですか。

先述した私の依頼を請け負つてくれてた子など、貴方に対してぶーたれてましたよ。あくまで手紙上で、ですけれど。

それに、これもその子から聞いたのですが、貴方は何やら面倒な女に惚れられている様子ですね。

そんなたらし活動を行つてゐると、その子達に後ろから刺されるかもしれませんよ。

これからは背後に気を付けて生活してください。頑張れ。強く生きて。
かしこ

藤丸立花

天然たらし様

く〇く

二月二十日

拝啓。

マシユさん、情報ありがとうございます。

そして、ごちそうさま。

まさか貴女がそんなに兄のことが好きだったとは思わなかった。

確かに馴れ初めを聞いたのは私だけど、原稿用紙100枚ぐらいの分量で語られるとは誰が予想しただろう。

少なくとも私は一切考えなかった。そして、この世のどこを探しても想像できた人など貴女以外にはいないだろう。

しかし、そこまで語れるほどの兄に魅力はあるのか。

何せ「明日は休日だし時間いっぱい使いたいから早く寝るわー」とか言っておいて翌

日昼まで寝てるような人間だ。

マシユさんはそんな野郎のどこに魅力を感じたというのか。

そう思つて原稿用紙を読んでみると、そこには砂糖のプールに水を一滴垂らしたような、濃密で甘くてとろける舌触りの出来事がつらつらと書かれている。

私はむせました。

言動は実に兄が言いそうなことだし、いつどこで何があろうと熟睡できる特技も確かに絶技である。

笑うと焼きたてのたい焼きをほっぺに付けてほころんでいるときのような不思議な感覚に襲われるし、魂も素晴らしいイケ魂だし、無意識とはいえ乙女なら誰しも一度は憧れるような甘い言葉を囁いてくれる。

これだけでもピュアな乙女のハートをイチコロ出来そうな要素満載であるが、しかしそれだけではなく――

私としては信じられないことだけど、マシユさんのことを庇つて殴り合いの喧嘩をしたこともあるそうじゃないか。

なんて素敵な王子様なんだこの藤丸立香という男は。

しかし私としてはひとつ言わせて欲しいことがある。

誰だこいつ。

うちの兄はこんなすごくかっこよかっただろうか。家族だから見る目に靄がかかってよく見ることが出来なかったのだろうか。

そんなはずはないと思うのだけど……。

いやでも、兄の寝顔を見ている時が一番至福とのたまう人が書くことだ。

失礼な話ではあるけれど、ここは一つ、恋による盲目のせいで平々凡々であるところの兄が絶世のイケメンに見えてしまう説を推そうと思う。

断じて私の目が節穴であるわけではないだろう。……ないよね？

それにしても不思議だ。私はどうして会ったこともないような人にここまで失礼なことを書けるのだろうか。

美しく調和のある淑女とは何だったのだろうか。

かしこ

藤丸立花

マシユ・キリエライト様

追伸

とはいえ、言動に関していえば確にかっこいいとは私も思いますよ？

癒し系の容姿も相まって、中々モテる部類の男性であることは確かです。

二月二十五日

二月二十五日

拝啓。

お兄ちゃんには失望しました。

まさかうちの兄が女装して舞踏会に臨み、白人の美女と社交ダンスをするような人物であつたとは。

その助平野郎甚だしい根性にも身を見張りますが、それよりも腹が立つところはわりと似合っているところです。

何ですか貴方、いや貴女。可愛い顔してるじゃないですか。というか、めちやくちや美人じゃないですか。

もうその格好のまま日本に帰ってきてはどうですか？絶対モテますよ。

何なら学園のアイドル化するまである。お兄ちゃんも女性からは距離を置かれ男性からはレーザービームのごとき熱い視線を浴びる生活を送ってみませんか。

まあそんなんやったら絶交しますが。

変態野郎の妹とか死んでもなりたくないの。

ちなみに件の写真の出所ですが、秘密です。敵は身内に有り、ということですが。

誰が敵か分ならず、疑心暗鬼になってしまいがよいのです。

……冗談はほどほどに。前回の手紙にて、俺が近況報告をしているというのにお前はしていないとは不公平じゃないかといわれたので、私も書くことにします。

うら若き女子高生の隠された日常を明らかにするのだ、喜ばしく思え。

昨日、進路希望調査なる紙が配られました。

進路希望というのは……言うまでもないでしょう。お兄ちゃんが一学年時に、世のため人のためになる職業につきたいと書いたアレです。

一見聖人のような進路に見えますが、よくよく考えなくてもめつさ抽象的。ただ単に、まだ決まっていないのをかっこよくいいかえただけでは？と思つたものです。

さて、私はと言いますと、これが全く、さつぱり、全然、これっぽっちも、爪の先程も書けないのです。

何故なら私の夢は高等遊民だからです。

ニートではありません。高等遊民です。

高等遊民は素晴らしいです。一日中ごろごろぐだぐだして過ごし、夕方になってひよろつと出掛けていき、夜中に戻ってくる。

ご飯は待っていても自動で出てくるし、服はかごに放り込んでおけば知らない間に洗

われている。

なんて夢のような生活。この素晴らしい高等遊民の実現を！

何度も言いますが、決してニートではございません。

しかしそんなものを進路調査に書くわけにもいきません。正気を疑われます。

そこで正気とバレてしまつては、間違いなくぐだぐだな精神を持つ女、ぐだ子とか呼ばれるようになるでしょう。お兄ちゃんみたいに。

それはごめん被る。そんなことになるくらいならカブトムシと書いて出すほうが幾分かましでしょう。

となると夢をでっちあげなきやなりません、それが思い付きません。

あーなんかいい感じの嘘でっちあげられないかなー。昨日からずうっと私の天才的な頭脳をフル活用していたのですが、それでも思い付かないのです。

これはもう、お兄ちゃんに聞くしかないのでは。

と、そういうわけなのでお兄ちゃん、なんかいい感じのでっちあげを教えてください。お願いします。

期日は一週間です。

かしこ

藤丸立花

三月一日～三月七日

三月一日

拝啓。

まさか兄さんがそんなことをいう人だとは思いませんでした。

「高等遊民になりたいとかぬかしてる奴が天才的な頭脳を持つているわけがない」だなんて！

非道い。そんな、薄々気付いてたことなんか指摘してくれやがらなくていいのです。わたしはただ、楽しんで過ごごしたいだけなのに。

お兄ちゃんは今実を見すぎです。そんな人は女の子からモテません。特に私みたいな良妻賢母な文武両道の美少女からの評価は著しく下がるでしょう。

著しく下がるでしょう。

これはつまり、要するに。兄さん、なんかいい感じのでつちあげを教えてください。お願いします。

前も同じこと書きました。つまりは二回目です。二回目ですよ！ 今度こそきちんとして書いてくれるって信じています。よろしくお願いします。

それはそうと兄さん。いくらなんでも女性に対して「冷酷無比なビーム砲」と「ツンデレJK系脳筋」という名前はちよつとないです。

というかなんですかビーム砲って。しかも剣の扱いがうまいってなんですか。フェンシングでもやってるんですか？ それにしてはビームの意味がよく分かりませんが。

それと、ツンデレJK系脳筋についても言わせてください。ツンデレJKなんてこの世にいるわけがないじゃないですか。そんなものは二次元だけの産物です。もつと現実を見なさい。いいですね？

それでは体にお気をつけて。

かしこ

藤丸立花

○

三月七日

拜啓。

でつちあげが本当にでつちあげですね。医者とか作家とかアイドルとかはまだいいです。なんですか体を機械に転換した数学者って。なんですか顔面ライオンの発明

王って。

そんなの現実にいるわけじゃないじゃないですか。万が一いたとしても、人じゃないじゃないですか。

私は人間をやめる覚悟も何もできていないのです。私は！ 人間を！ やめないッ！

一番酷いのは最後。投げやり気味に書かれた、ヲタクとかいう三文字。

兄さんは私を馬鹿にしているんですか。そんなのニートや高等遊民と書くのと何ら変わらないじゃないですか。

別になつてもかまいませんが、そういうことじゃないのです。

誤魔化すためにでっちあげを依頼したのであつて、だから悪の親玉だの西部劇のガンマンだの種火狩りが得意なフレンズだのクリミアの天使だのダースベイダーだのドイツシヨンスターだの、そういうよく分からないものを書いて寄越されても何の意味もないわけですよ。種火つて何ですか。

でもアイドルは面白そうなのでいただきます。早速書いてみることにします。

それでは体にお気をつけて。なるべくならもう一個くらい何かでつち上げてほしいです。

かしこ

